



は
が
ほど
くらい

文法を楽しく!!

ぶん ぼう たの

よう (2)

前回の「よう(1)」では「推量」と「たとえ」の用法を勉強しました。今回は「指示・命令」「祈願・願望」を表す「よう」、「ようにする」「よくなる」、そして、「目的(結果)」「例示」「前置き」を表す「よう」について考えます。今回の学習に当たっては、「よう(1)」の「よう」の意味用法の表を参考にしてください。

3. 「指示・命令」の「ように」について

次の文(1)(2)で、仕事を休む人は誰でしょうか。

- (1) 田中さんは山田さんに明日仕事を休むと言いました。
(2) 田中さんは山田さんに明日仕事を休むように言いました。

(1)で田中さんは、「明日仕事を休む」と山田さんに言いました。ですから、仕事を休むのは田中さんになります。(2)では、田中さんは山田さんに「仕事を休むように」と言いました。「休むように」というのは、「休みなさい」「休め」「休んでください」のような命令や指示、また、依頼・助言などを表します。したがって、田中さんは次のように言ったことになります。

- (2)田中さんは山田さんに「明日仕事を休みなさい／休んでください」と言いました。

ですから、「明日仕事を休む」のは山田さんになりますね。

このように「～ように言う」は、直接的な指示や命令を、間接的な表現を用いて伝える場合に用います。

ファンさんは体調が悪かったので、会社を早退して病院へ行きました。病院でファンさんは医者いろいろなことを言われました。

その夜ファンさんは、奥さんに病院へ行ったことを報告しました。(3)はその時のファンさんと奥さんの会話です。____には「ように」を使った文を入れてください。



- (3) 奥さん：お医者さん、何て言ってた？
ファン：特に悪いところはないって。ただ・・・。
奥さん：ただ・・・？
ファン：もっと規則正しい生活をするように言われたよ。
奥さん：ほーら、だからいつも言ってるじゃない。タバコは？
ファン：タバコも _____ 言われた。
奥さん：お酒は？
ファン：お酒もあまり _____ 言われたよ。

答えは「やめるように／吸わないように」と「飲まないように」になります。病院で医者がファンさんに直接命令・指示したことを、ファンさんは「ように言う／ように言われた」を使って、奥さんに間接的に伝えています。

4. 「祈願・願望」の「ように」について

あなたが何かを祈ったり、願ったりする時、日本語では「～ように祈る／願う」という表現をします。

- (4) 皆さんが幸せに暮らせるように祈っています。
(5) 今度の仕事がうまく行くように願っている。
(6) 平和の願いが全世界に届くように祈ってください。
(7) この記念碑は、人々の夢が実現するように願って、建てられました。

「～ように祈る／願う」の「ように」は、「そういう結果に、そういう状態に」「行きつく」「なる」という意味を含んでいます。したがって、「ように祈る／願う」の前には動詞の可能形(4)や自動詞(5)(6)が来ること多いです。

また、次のように、「ように」の前に丁寧形が来たり、「祈る／願う」を省略した形も多く見られます。

- (8) ぜひご協力いただけますようお願い申し上げます。
(9) すべての人に幸せが来ますように。
(10) 今年一年何事もありませんように。

5. 「よくなる」 6. 「ようにする」の「よう」について

ここでは5「よくなる」と6「ようにする」を合わせて考えます。

4「祈願・願望」で、「ように」は「そういう結果、そういう状態に」「行きつく」「なる」という意味を含んでいると説明しました。「よくなる」「ようにする」についても同じことが言えます。

「～よくなる」はある過程を経て、そのような状態に「なる」ことを表します。下の(13)に「ように」を使ったことばを入れてください。

- (11) うちの子は8か月で歩けるようになった。
(12) 彼は最近政治に興味を持つようになったそうだ。
(13) ニュースの日本語が _____ なりたいたい。

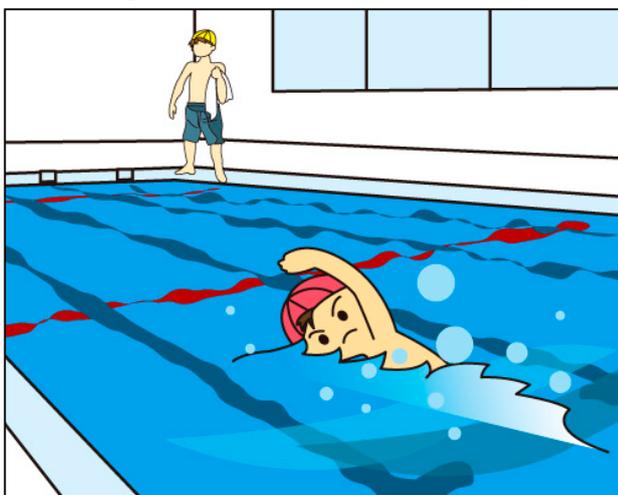
(13)の答えは「分かるように／聞けるように」ですね。

一方、「～ようにする」は、努力をして、また、工夫をして、そのように「する」ことを表します。

- (14)どんな時でも、自分の意見をはっきり言うようにしましょう。
 (15) A：体調大丈夫ですか。
 B：ありがとうございます。
 A：無理をしないようにしてください。
 (16)ゴミ出しや買物など、短時間の外出でも鍵をかけるようにしてください。

7. 「目的（結果）」の「よう」について*

「目的（結果）」を表す「よう」は、「文1」ように、「文2」の形をとって、「文1」で「そういう結果・状態」になることを願って、「文2」で「そのための努力をする／している」という意味合いを表します。



- (17)25メートル泳げるように、毎日練習している。
 (18)子供が元気に育つように、親は頑張っている。
 (19)虫歯にならないように、丁寧に歯をみがきなさい。
 (20)患者を待たせないように、予約制をとっている病院が多い。

目的（結果）の「ように」の前には、動詞の可能形(17)、自動詞(18)、動詞のナイ形(19)(20)が来ることが多いです。

「ように」が目的（結果）を表すので、目的「ために」とどう違うのかという問題が出てきます。次のa bは、両方とも「大学院に入る」という目的で、「一生懸命勉強している」という内容を表しています。

- (21) a. 大学院に入れるように、一生懸命勉強しています。
 b. 大学院に入るために、一生懸命勉強しています。

「ように」と「ために」の違いは、一言で言うと、話し手の伝え方の違いということになります。「ように」はaでは、話し手「大学院に入る」という過程や結果に重点を置いて、「そういう状況

態になる（ことができる）ことを願って（勉強する）」という意味になり、bの「ために」は、「大学院に入ることを目的として、それだけを目指して、（勉強する）」という、話し手の意志的な、積極的な気持ちや姿勢を表します。

- (17)～(20)の中から(18)(19)を取り上げて考えてみましょう。
 (18)は「子供が元気に育つ」、(19)は「虫歯にならない」という過程・結果を重視した文なので、「ように」が適切です。もし、意志的、積極的な目的表現にしたければ、「(18)」「(19)」のように、文を修正する必要があります。

- (18)子供が元気に育てるために、親は頑張っている。
 (19)虫歯を予防するために、丁寧に歯をみがきなさい。

(18)では、「(元気に) 育つ」の代わりに「(元気に) 育てる」、(19)では「(虫歯に) ならない」の代わりに「(虫歯を) 予防する」という意志的な動詞を用いています。

8. 「例示」9. 「前置き」の「よう」について

8の「例示」は「ように」を用いて、例を示す働きをします。

- (22)私がやるようにやってください。
 (23)彼のような真面目な人は誰にでも信頼される。

(22)では、どうすればいいかについて、「私がやるやり方で」「私のするとおりに」と、例を示しています。(23)は「真面目な人は信頼される」例として「彼」を出し、「彼のような真面目な人（は誰にでも信頼される）」と表現しています。

9の「前置き」は、話し手が説明を始める時、説明の導入をスムーズにするために冒頭で用いる表現です。「ご存知のように」や「周知のように」などのような、慣用的に決まった言い方になっている場合が多いです。

- (24)皆さんご存じのように、2020年に東京でオリンピックが開催されます。
 (25)周知のように、わが国はいよいよ本格的な超高齢社会に入りました。
 (26)皆様すでにご承知のように、10月23日に新潟地方を中心に大地震が発生しました。

注

*「ように」と「ために」の違いについては、「文法をやさしく」(2004年1月更新)に詳しい説明があります。参照してください。
http://www.jpff.go.jp/japanese/survey/tsushin/grammar/pdf/tushin48_p22-23.pdf

このコーナーの担当者：市川保子（日本語国際センター客員講師）

このコーナーについてご感想やご質問があれば送ってください。